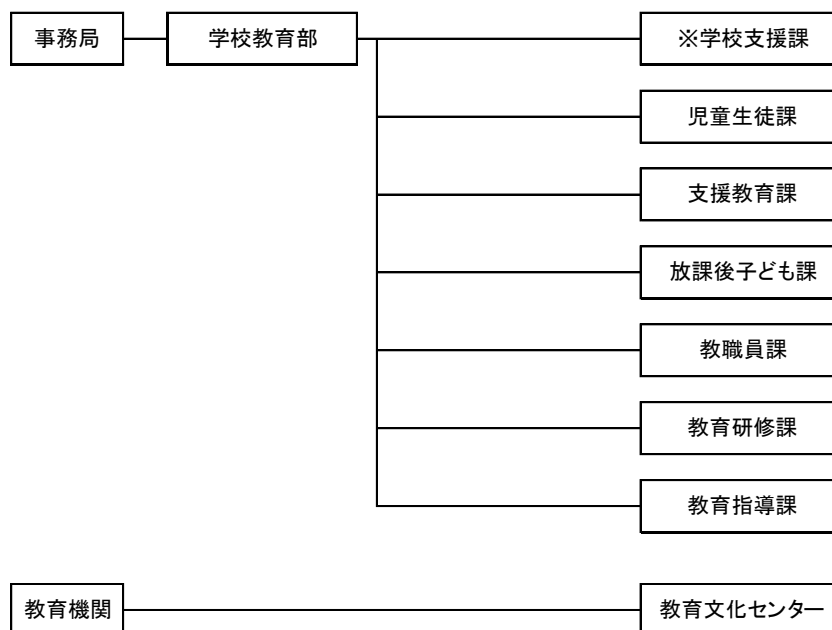


学校教育部 所管事務の概要



学校支援課

- (1) 小学校及び中学校への就学に関すること。
- (2) 教科書の給付に関すること。
- (3) 奨学金に関すること。
- (4) 就学援助に関すること。
- (5) 児童、生徒及び園児の保健に関すること。
- (6) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- (7) 枚方市PTA協議会との連絡調整に関すること。
- (8) 学校管理下における災害共済給付制度に関すること。

児童生徒課

- (1) 教育相談に関すること。
- (2) いじめ対策、不登校対策その他の生徒指導に関すること。
- (3) 学校いじめ対策審議会及び学校いじめ重大事態調査委員会に関すること。

支援教育課

- (1) 支援教育に関すること。
- (2) 学校教育における人権教育に関すること。
- (3) 防災、防犯等の安全教育に関すること。
- (4) 安全指導に関すること。
- (5) 学校安全に係る家庭、地域、学校等との連携に関すること。
- (6) 支援教育充実審議会及び学校事故等調査委員会に関すること。

放課後子ども課

- (1) 留守家庭児童会室に関すること。
- (2) 放課後等における児童の育成支援に関すること。
- (3) 児童の放課後審議会及び総合型放課後事業委託事業者選定審査会に関すること。

教職員課

- (1) 教職員の任免、分限、懲戒、賞罰、服務等に関すること。
- (2) 教職員の給与、旅費等に関すること。
- (3) 教職員の福利厚生及び健康管理に関すること。
- (4) 教職員の退職料及び遺族扶助料に関すること。
- (5) 教職員の公務災害補償に関すること。
- (6) 教職員の定数管理に関すること。
- (7) 学級編制に関すること。
- (8) 教育に係る調査及び統計に関すること。
- (9) 教職員に係る褒章候補者の推薦に関すること。

学校教育部

教育研修課

- (1) 教職員の研修に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (2) 学校における情報化の推進に関すること。
- (3) 教育に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (4) 教育関係資料の収集、整備及び保管に関すること。
- (5) 理科教育振興法（昭和28年法律第186号）による教材に関すること。

教育指導課

- (1) 学校及び幼稚園の教育課程に関すること。
- (2) 教科書、教材等に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (3) 教職員の研修（学校園内研修、中央研修及び民間派遣研修に限る。）に関すること。
- (4) 学校運営協議会及び枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に関すること。

教育文化センター

- (1) 教育に関する専門的、技術的及び実践的な調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 次に掲げる事業を行うための場所の提供に関すること。
 - イ 教育相談事業
 - ロ 不登校の児童又は生徒の社会的自立に資するための相談及び指導を行う事業
 - ハ 音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある幼児、児童及び生徒についてその機能の維持向上を図るための言語訓練その他の訓練を行う事業

令和5年度主要施策の成果と課題

【学校支援課】

1. 就学援助事業について

経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、保護者の負担軽減を図るため、就学援助費を支給するとともに、小・中学校入学前の3月には、入学準備金として新入学児童生徒学用品費等を支給した。

2. 健康診断について

学校園における定期健康診断において、尿検査、結核検診、心臓検診を行うとともに、モアレトポグラフィ法での脊柱検診を実施した。

【児童生徒課】

1. 生徒指導の充実について

① 生徒指導充実事業について

小学校では、生徒指導主担者、中学校では生徒指導主事が中心となり、生徒指導体制を構築し、対応を進めているが、令和4年度と比較して、暴力行為は小中学校ともに増加した。いじめについては、小さな事案から丁寧に対応する視点から、認知件数が令和4年度と比較して、小学校では686件、中学校では460件増加し、小学校では3,410件、中学校では951件となった。

学校がいじめの発見・通報を受けた場合に、学校内のいじめ対策を実効的に行う「いじめ防止対策委員会」に対し効率的な運営ができるよう、組織的に早期解決をめざす体制を整備した。また、いじめを市全体の問題として捉え、市長部局と情報共有し、いじめ対策について連携等を行う会議を月1回以上開催するなど、双方のいじめ対策グループで連携し、いじめ対策の総合的な推進を図った。いじめの防止等の対策を実効的に行うため調査審議する「枚方市学校いじめ対策審議会」を9回開催した。いじめ重大事態に係る事実関係を明確にするための調査について、第三者による調査が必要な場合に調査を行うため、枚方市学校いじめ重大事態調査委員会条例を制定し、「枚方市学校いじめ重大事態調査委員会」を設置した。

今後も、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家との連携も含めた組織的な生徒指導体制を強化するため、継続して取り組む必要がある。

貸与されたタブレット端末を活用して、児童・生徒の気持ちを視覚化し、子ども理解と支援を進める取り組みについて検証を行った。今後はいじめや不登校をはじめ、さまざまな困りごとを、子どもが一人で抱え込むことがないよう、子どもが発する心のサインを可視化するICT等を活用した新たなシステムを関係各課と連携し、構築していく。

定例で開催している枚方市小・中学生指導連絡会は、各校の情報を共有する場として、生徒指導の事例の検証などを行った。

② 教育相談実施事業について

総合相談窓口「子どもの笑顔を守るコール」の電話番号を記したチラシを市立全学校園の幼児・児童・生徒に配付するとともに、市ホームページにも掲載し、保護者、市民に周知した。相談件数は、令和4年度と比較すると、減少した。相談者了解のもと、学校へ情報提供し、解決に向けた取り組みを学校と連携して行った。また、全小学校には

「心の教室相談員」、全中学校、6 小学校に「スクールカウンセラー」を配置し、児童・生徒・保護者及び教職員からの相談に対し、臨床心理等の専門知識を活かした助言等を行うことができた。

③ 不登校等対策事業について

不登校児童・生徒数は、令和 4 年度と比較して小学校では 87 人、中学校では 36 人増加し、小学校では 442 人、中学校では 680 人となった。主な要因としては、不安や無気力が挙げられるが、その要因は個人によりそれぞれ異なっている。全中学校、7 小学校に不登校支援協力員を配置し、校内の適応指導教室を活用して教育相談や学習の補助を行い、不登校児童・生徒及び不登校の兆候が見えた児童・生徒の支援を行った。さらに、枚方市適応指導教室「ルポ」においては、不登校状態にある 88 人の登録児童・生徒に対して学習活動やグループ活動を通じた社会的な自立のための支援と指導を行うとともに、保護者の気持ちにも寄り添った対応をすることができた。民間施設との連携を踏まえた「不登校支援ガイド」「不登校児童・生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」を発信し、多様な不登校支援について周知した。

【支援教育課】

1. 人権・平和教育推進事業について

人権教育推進研究事業及び多文化共生教育研究事業において、枚方市人権教育研修会、北河内地区人権教育研修会、大阪府人権教育研修会等の研究会・交流会に教員及び指導主事が書面開催等で参加し、研修内容を校内等で周知することで、幼児・児童・生徒の人権教育、在日外国人教育、国際理解教育等の取り組みを充実させることができた。

また、人権政策室と連携して令和 6 年 3 月 2 日にひらかた平和フォーラムを実施した。

2. 支援教育の充実について

① 支援教育学校園支援事業について

発達障害等があり教育的支援を必要とする児童・生徒に対する個に応じた指導の一層の充実を図るために、特別支援教育士・臨床心理士等の専門家を小・中学校 4 校にそれぞれ年間 5 回派遣した。児童・生徒への指導や学校内の支援教育体制について教職員に直接指導・助言を行った。

② 支援教育コーディネーター支援充実事業について

全小・中学校に非常勤講師を配置して、支援教育コーディネーターの要支援児童・生徒に対する支援のための活動時間を確保し、校内における支援体制の充実を図った。

また、支援教育コーディネーターを対象に、専門家や有識者を招聘した研修を教育研修課とともに年間 3 回行い、資質の向上に取り組んだ。

③ 支援教育のさらなる推進について

平成 28 年 4 月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、本人や保護者の意向を受け止め、合理的配慮について適切に対応しながら支援教育に取り組んだ。会計年度任用職員（臨時学校看護師・肢体不自由児介助員・特別支援教育支援員）を配置した。また、全小中学校に教育支援ソフトを導入し、必要とする学校に階段昇降車を配置するなど支援教育に係る環境の整備等を行った。

④ 枚方市支援教育充実審議会について

支援の必要な児童・生徒の将来の自立、就労をはじめとする社会参加をめざし、その可能性を十分に引き出すとともに、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、すべての児童・生徒がともに育ち合うよう、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実に努めている。このことも踏まえ、これまで本市が進めてきた支援教育について現状や課題等を総括の上、支援教育の質の向上方策を含めた今後の枚方市の支援教育の在り方について本審議会を 8 回開催した。

3. 安全・防災教育について

文部科学省作成の「学校の危機管理マニュアル作成の手引」を活用し、学校園における防災マニュアルの見直しを行い、学校の状況に応じた「火災」「風水害」「地震」等を想定した避難訓練を実施するなど、防災教育の充実を図った。

全学校園において活用している学校園メール配信システムで、不審者目撃や緊急事案等の情報を提供し、児童・生徒の登下校の安全確保を図った。

【放課後子ども課】

1. 子どもの居場所づくりの充実について

「留守家庭児童会室」と「オープンスクエア」を一体的に運営し、就学後も保護者が安心して就労できる環境と、子どもたちが学校で楽しく安全に過ごせる環境の整備を目的とした総合型放課後事業を全校（直営 22 校、委託 22 校）で実施した。

保護者の就労、病気等の理由により放課後の保育が必要な小学 1 年生から 6 年生の児童の豊かで安全な生活を確保し、併せて、保護者が働くための環境整備に資するため、市立全 44 小学校内の専用施設等で開室している留守家庭児童会室については、各児童会室の基本定員は概ね 40 人であるが、待機児童解消のため臨時定員の設定や、放課後オープンスクエアを実施したことで、新年度の入室申し込み期限である 1 月 31 日までの申込者についてはすべて受け入れを行った。また、児童の安全対策や保護者の利便性の向上、職員の業務改善を図るため、入室申し込み等でのオンライン申請や児童の入退室管理システムの導入を行うとともに、オンライン申請の自動処理システムを開発・運用し、それに合わせた課内事務の DX 化により、より効率的な運営を行うことができた。

2. 土曜日等における児童健全育成事業（枚方子どもいきいき広場事業）について

これからの時代を担う子どもたちの「生きる力」を育んでいくことを目的として、土曜日等の学校休業日に市立全 44 小学校で児童健全育成事業に対して取り組んでいる。実施団体に対しては、市が支援・助成している。

令和 5 年度は、1,320 回の開催予定で、1,314 回の開催となった。なお、1 回当たりの平均参加児童数は約 26 人であった。

【教職員課】

1. 教職員人事について

学校園運営状況を把握するため、学校園長とのきめ細かいヒアリングなどに取り組むとともに、各学校園の課題克服や新規採用後 4～6 年目の教職員の育成、次期管理職候補の育成を念頭においた人事配置を行った。

また、令和 5 年 4 月 1 日に、市費負担任期付教員 69 人（小学校 57 人・中学校 12 人）の新規採用や他市町村との異動を含む 500 人規模の定期人事異動を行った。

2. 市独自の少人数学級編制の実施と学力向上及び生徒指導充実に向けた取り組みについて

小学校第 4 学年までについては支援学級在籍児童を含めて 35 人以下とする本市独自の少人数学級編制を、第 5・第 6 学年については支援学級在籍児童を含む 40 人学級編制を実施するため、学級数が増える小学校に市費負担任期付教員を配置した。

また、中学校での学力向上及び生徒指導体制を充実させ、安全・安心な教育環境の充実に図り、子どもたちの豊かな人格形成を行うため、市費負担任期付教員等を配置した。

3. 労働安全衛生体制の整備について

枚方市立小・中学校及び幼稚園に勤務する教職員の労働安全衛生及び健康を確保するため、枚方市立学校園教職員安全衛生管理規程に基づき、常時 50 人以上の教職員が勤務する蹠陀中学校、杉中学校及び菅原東小学校で衛生委員会や講演会などを開催した他、他の市立学校園でも教頭などを衛生推進者として安全衛生及び健康確保に向けた取り組みを進めた。

4. 教職員の服務規律の確保について

大阪府教育委員会作成の不祥事予防の手引きを活用し、各学校でハラスメントや体罰防止等についての研修を実施した。今後も引き続き、研修の実施やあらゆる機会を捉えて注意喚起を行うなど、服務規律の確保に取り組み、不祥事防止の徹底を図る。

5. 学校事務共同実施の推進について

「枚方市学校事務支援センター」を中心に、各校への事務支援や情報発信をはじめ、経験の浅い事務職員の育成などに取り組んだ。今後は学校事務の共同実施を推進するとともに共同学校事務室の設置に取り組むことで、小・中学校における事務の効率化と機能強化を図る。

【教育研修課】

1. 教職員の指導力の向上について

①枚方市教職員育成事業について

令和 5 年度は、令和 4 年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」を目標に、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②Hirakata 授業スタンダード・授業計画時に大切にしたい 5 つの C の視点に基づいた授業改善、③人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実、④研修履歴を活用し対話に基づく教職員研修の受講奨励の 4 つを重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修をはじめとする教員の経験・職務に応じた研修（基本研修）、教育課題や教科等の専門性を高める研修（専門研修）、専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得と情報活用能力の向上を図る研修（職務研修）を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図った。

教職員研修講座については、総計、年間 186 回の研修を実施した。また、経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等として、教育推進プランナー等により年 819 回学校訪問を実施した。

②授業の達人養成講座事業について

令和 5 年度は、2 年プランの 2 年目として、外部講師も含めた講座を年 12 回実施した。講座では、「教育のスペシャリスト」を講師に招聘し、学習指導要領の方向性や主体的・対話的で深い学びの実現などについて講義・演習を実施した。また、研究授業の実施や参観を通して、実践的指導力の向上を図った。

③校内研修（研究授業）等への指導・支援について

経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等として、教育推進プランナー等により年 333 回学校訪問を実施した。

2. 学校園運営体制の確立と開かれた学校園運営の推進について

校園長及び教頭を対象に適正な学校園運営の確立に向けた研修を行った。また、主任等を対象に研修を行い、職務と役割について理解を深めた。

校園長・教頭研修では、学校組織マネジメントや ICT の利活用、学校園の危機管理について等、実践につながる研修を 12 回実施した。

主任等を対象としたリーダー研修や職務研修では、学校経営における主任の役割について理解を深めるとともに、学力向上に関する研修等、主任としての資質を高めるための研修を 28 回実施した。

3. 人権を尊重した教育の推進について

人権尊重の精神に則った教育の推進に向けて、学校における人権課題や幼児・児童・生徒の人権についての理解を深める研修を実施した。初任者研修をはじめ、管理職研修やリーダー研修において、「学校でできる自殺予防教育プログラム」「子どもたちの『Well-being』実現へ向けて」「新しい人権概念」にかかる研修を実施し、延べ 217 人が受講した。

4. 授業をカエル LABO について

情報教育推進ワーキングチームの発展型として、学び続ける教職員が、学びたいテーマを自ら選びつながるプロジェクトとして実施した。テーマに「かんガエル LABO」「ふりカエル LABO」「家にカエル LABO」を設定。それぞれ 10 回程度のオンラインミーティングを通して、先生方がつながり、学びを深める場となった。今後も教職員の主体性を大切に、「学び続ける教職員」を育成していく。

5. 情報教育の推進について

令和 4 年度に改訂した「枚方版 ICT 教育モデル」に基づき、1 人 1 台端末等の ICT を効果的に活用した個別最適・協働的な学びの実現に向けた授業改善を推進した。また、令和 3 年度に構築した、ICT 教育の実践をまとめたポータルサイト「GiGA スク!ひらかた」と教職員が情報共有をするためのポータルサイト「まな ViVA! ひらかた」を活用し、積極的な情報共有を行っている。「GiGA スク!ひらかた」では、令和 6 年 3 月時点で約 34 万のアクセスがあった。「まな ViVA! ひらかた」では、研修動画や約 800 事例もの授業実践事例集 (HI-PER) を掲載しており、本市教職員であれば何度でも学ぶことができる。さらに、1 人 1 台端末の更新やその他学校教育における情報化の推進のための施策に関し、情報通信技術及び情報教育の関係者の意見を聴取するため、意見聴取会を進めている。

6. ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナー及びネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会について

GiGA スクール構想に伴う 1 人 1 台端末の更新に向け、教育的な効果やコスト面など専門的・多角的な視点で、内外の意見を参考にして、子どもたちの教育に支障がないよう端末更新を滞りなく進めるため、「ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナー」を委嘱するとともに、「ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会」を設置し、議論を進めた。

ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナーについては、外部有識者に委嘱し、1 人 1 台端末の更新及びその他学校教育における情報化の推進のための施策に関する専門的な助言を目的に延べ 23 回会議を実施した。

ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会について、授業づくり、情報技術、支援教育、不登校支援、小学校管理職、小中学校教諭から 7 名を委員として構成し、計 6 回意見聴取会を開催した。

7. 学校ブログの本格活用について

学校が授業や様々な教育活動の様子を積極的に発信できる学校ブログの運用が定着し、令和 5 年度は全小中学校で合計約 37 万回の投稿があった。学校ブログを活用することで、学校の日々の様子や教育活動の様子などの情報をよりタイムリーで分かりやすく発信できるようになった。今後も保護者や地域に向けて、今まで以上にタイムリーでわかりやすく工夫した情報の発信を図っていく。

8. ICT 支援員の各学校配置について

ICT に関連した業務について、児童・生徒及び教職員を支援し、GiGA スクール構想における学校の ICT 化を円滑に進めることを目的に、市立小中学校に対して専門知識を持った ICT 支援員を 12 名配置した。1 校あたり年間 36 回訪問し、ICT 機器を活用した授業づくり支援や教職員への研修支援、ICT 機器等の障害対応・管理等の支援を行った。63 校合計で年間 2,268 回の訪問支援を行い、教職員対象のアンケート調査でも 92.8%が ICT 支援員の業務内容に対して「とても満足」「満足」と回答した。

9. 採点支援システムの導入について

中学校に採点支援システムを令和 4 年 7 月に導入し、本システムの利用を推進してきた。令和 6 年 3 月に実施したアンケートでは、中学校教員の約 91.9%が採点支援システムを利用して、採点・集計・転記の負担が軽減されたと回答した。このシステムが持つ分析機能を活用することで生徒の弱点を把握し個別最適な支援につなげるとともに、教員の採点から成績処理の負担を軽減し児童・生徒と向き合う時間確保につなげていく。

10. 学校のネットワークアセスメント調査について

GiGA スクール構想に伴って令和 2 年度に市立小・中学校の校内 LAN を整備し、児童・生徒が 1 人 1 台端末によりクラウドを活用した授業を行っているが、今後、デジタル教科書やデジタル教材の利活用が本格化することや文部科学省が主導する 1 人 1 台端末を活用した全国学力・学習状況調査の実施等さらなる通信量の拡大が想定される。そのため、現在の通信ネットワークの稼働状況やボトルネック等を把握し、課題に対応する必要があるため、専門業者にネットワークアセスメント

調査を委託した。市立小・中学校から 10 校を抽出してアセスメントを実施した結果、軽微な電波障害や一部機器の故障が発見されたが、本市では各学校から直接インターネットに接続する直接接続方式（ローカルブレイクアウト）を採用しており通信状況に大きな問題はないと診断された。今後も教育の情報化推進に伴ってネットワークを含む学校 ICT 環境の整備を行っていく。

1 1. 学校における生成 AI の活用について

日常生活の様々な場面で生成 AI の活用が進む中、学校においても令和 5 年度「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」が文部科学省から示され、市立中学校 1 校が、国が進めるリーディング DX スクール事業の生成 AI パイロット校に採択された。国の補助金を活用しながら授業での生成 AI の活用について取り組みを進めた。学校の成果報告会には市内外問わず約 70 名が参加し研究報告と実践の共有を行った。今後も同ガイドラインに則り授業や校務といった様々な場面での生成 AI の活用について取り組みを行っていく。

1 2. GIGA フェスについて

未来を生きる子どもたちが未来社会への夢や可能性を感じる機会を提供するとともに、枚方市内の小中学生が探究的に課題解決した取り組みの発表をとおして、これからの子どもたちにとって必要な資質・能力について考えるためのイベントとして「GIGA フェス」を実施した。令和 5 年度は「GIGA フェス 2023 in ひらかた万博」と題し、「体験型イベント」と「発表プレゼン型イベント」を実施し、約 400 人が参加した。

【教育指導課】

1. 学力向上の取り組みの推進について

全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。また、全国学力・学習状況調査については、各校において当該調査問題を分析し、その結果を踏まえて授業の教材や家庭学習等を工夫する等、児童・生徒の学力向上に向けて効果的に活用した。

2. 英語教育の推進について

児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中学校に各 1 人の外国人英語教育指導助手（NET）及び全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）または英語専科教員を配置し、「聞く」「読む」「話す」「書く」力をバランスよく育む授業を実践した。さらに、NET の小学校定期巡回やタブレット端末を活用した遠隔授業など、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組み等、小・中学校の英語教育の推進を図った。

英語の 4 技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第 2・第 3 学年の全生徒を対象に 4 技能の到達度を測ることができる学習アプリを導入することで、生徒の英語力向上を図った。

関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため、GIGA フェスひらかた 2023 において、「枚方英語村」を実施した。また、市内中学校の授業で作成した「枚方ガイドマップ」を紹介するため、留学生を学校に招待し、発表や学校案内を行った。

3. 体力向上の取り組みの推進について

全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、各校の分析結果を踏まえて体力向上プランの作成を行った。また、体力向上研究指定校（藤阪小学校）においては、大阪体育大学と連携し、体力向上に向けた研究・実践を行い、3 学期に公開授業や研修会を開き、成果を市内小学校へ共有した。

枚方市小学生スポーツ Carnival を開催し、陸上教室において走り方を教えるとともに、ジャベリックボール投げやレクリエーションスポーツなど様々なスポーツに触れる機会を設けた。

4. 読書活動の推進について

児童・生徒の読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、学校司書を市内全 19 中学校区に継続配置するとともに、小学校 20 校にも継続配置し、学校図書館の環境整備及び有効活用等に取り組んだ。また、読書に対する意欲の喚起や読書量の増加に向けて、朝読書やビブリオバトル、動機づけに向けての取り組み例の共有等、ポータルサイトの活用も含め、読書活動の充実を図った。

5. 学力向上推進事業（放課後自習教室事業）について

児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用し、授業・課業時間外・家庭における学習機会の充実を図り、すべての子どもたちの学力向上の取り組みを推進した。また、放課後等において、民間事業者への委託による学習教室を開催し、参加生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着等の学習支援を行った。

6. 学校園活性化事業について

全学校園において、教育課題の解決や教職員の資質向上に向けて、教育活動の活性化、公開授業の実施、校内・園内研修の充実等の取り組みを行った。また、菊のひらかた・菊咲かそう体験事業として、全学校園が菊の栽培を実施し、一定数の学校園がひらかた菊花展に出展した。また、教育委員会主催の小学校合同音楽会を枚方市総合文化芸術センターにおいて開催した。

7. 中学校部活動指導協力者派遣事業について

中学校部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員自身の授業研究や生徒指導に係る時間の確保に向けて、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者の派遣を行った。

8. 学習指導要領に基づく教育課程の編成と取り組みについて

各小・中学校において策定している学習指導要領に基づいた教育課程の編成や授業時数等を定めた学習指導計画について、進捗状況等を把握し、課題等について指導、助言を行った。また、ICT 機器を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の推進及びカリキュラム・マネジメントの取り組みの推進について、指導、助言を行った。

9. コミュニティ・スクール推進事業について

市立全 44 小学校が、地域住民等と協働して学校運営に取り組むコミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）となっている。令和 5 年 11 月に文部科学省のコミュニティ・スクールマイスターを招聘し、オンラインでコミュニティ・スクール研修会を開催し、コミュニティ・スクールについての理解を深めることで、地域とともにある学校づくりを推進した。

10. 小学校社会科副読本「わたしたちのまち 枚方」の電子媒体化について

児童 1 人 1 台タブレット端末の配備を踏まえて、ICT 機器特有の機能（豊富な資料閲覧、360 度画像、動画、地図機能等）を活用することで、広角的な視野・視点から物事を捉えることが期待できることから、小学校社会科副読本「わたしたちのまち 枚方」の電子媒体化に向けてデータベースの構築等を行い、小学 3・4 年生がデジタル副読本を活用している。

11. 中学校部活動地域連携事業について

スポーツ庁・文化庁が示す中学校部活動の段階的な地域移行を踏まえて、今後の中学校部活動の在り方について、有識者、保護者、小・中学校長、関係団体代表で構成する枚方市中学校部活動の在り方懇話会、および庁内委員会における協議・検討を経て、令和 6 年 1 月から 3 月に、市内 3 大学と連携した試行実施を行った。

令和 5 年度事務概要

【学校支援課】

(1) 要保護及び準要保護児童・生徒援助費、中学校夜間学級就学援助

① 就学援助の状況

(単位：人、%)

区 分	児童・生徒数 (令和 5 年 5 月 1 日現在) A	申請者数 B	認定者数 C	否認者数 D	申請率 B/A	認定率 C/A	否認率 D/A
小学校	19,376	3,993	3,341	652	20.6	17.2	3.4
中学校	9,916	2,327	1,944	383	23.5	19.6	3.9
合 計	29,292	6,320	5,285	1,035	21.6	18.0	3.5

② 就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品費等	3,340	49,448,295	1,945	50,794,040	5,285	100,242,335
新入学児童生徒 学用品費	97	5,243,820	84	5,292,000	181	10,535,820
小学校入学準備金	430	23,245,800			430	23,245,800
小学校入学準備金 (差額分)	-	-			-	-
中学校入学準備金	592	37,296,000			592	37,296,000
中学校入学準備金 (差額分)			555	1,665,000	555	1,665,000

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
修 学 旅 行 費	611	17,193,982	665	25,113,971	1,276	42,307,953
学 校 給 食 費	3,340	136,298,400	951	50,585,480	4,291	186,883,880
校 外 活 動 費 (宿泊分)	554	3,116,412	216	2,127,637	770	5,244,049
実 験 実 習 見 学 費	3,339	1,335,600	1,944	874,800	5,283	2,210,400
小 計		273,178,309		136,452,928		409,631,237
医 療 費	457	2,320,072	200	1,266,227	657	3,586,299
合 計		275,498,381		137,719,155		413,217,536

〔注〕小学校入学準備金（差額分）は、令和5年度に新入学児童生徒学用品費に増額改定がなかったため、差額が発生していない。

③ 中学校夜間学級就学援助費目別支給状況

（単位：人、円）

	人 員	金 額
学 用 品 費 等	5	96,588
修 学 旅 行 費		
校 外 活 動 費 (宿泊を伴わない)		
通 学 費	5	210,980
合 計		307,568

〔注〕令和5年度は修学旅行の実施なし。

（2） 支援学級等就学奨励費

① 就学奨励費の状況

（単位：人、％）

区 分	児童・生徒数 (令和5年5月1日現在) A	申請者数 B	認定者数 C	不認定者数 D	申請率 B/A	認定率 C/A	不認定率 D/A
小学校	1,742	1,240 (75)	1,240 (75)	-	71.2	71.2	-
中学校	509	375 (49)	375 (49)	-	73.7	73.7	-
合 計	2,251	1,615 (124)	1,615 (124)	-	71.7	71.7	-

〔注〕（ ）内は通学費のみの申請で外数。認定者数は職場実習交通費、交流及び共同学習交通費等のみの認定者を含んだ数。

② 費目別支給状況

（単位：人、円）

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学 用 品 費	784	5,113,958	208	2,557,192	992	7,671,150
新 入 学 児 童 生 徒 学 用 品 費	104	2,657,720	72	2,195,280	176	4,853,000
修 学 旅 行 費	112	1,568,235	55	1,018,570	167	2,586,805
学 校 給 食 費	784	16,134,800	100	2,364,355	884	18,499,155
通 学 費	5	17,700	1	460	6	18,160
校外活動費（宿泊分）	144	855,673	19	188,511	163	1,044,184
職 場 実 習 交 通 費			5	4,850	5	4,850
交 流 学 習 交 通 費	-	-	-	-	-	-
計		26,348,086		8,329,218		34,677,304

(3) 枚方市奨学金の支給状況

(単位：人、円)

令和 5 年度申請者数		109	給付総人数		217
令和 5 年度認定者数		79	内 訳 (一)	公立在学生	100
内 訳 (一)	公立在学生	38		私立在学生	117
	私立在学生	41	内 訳 (二)	新規給付者	79
内 訳 (二)	1 年 生	73		継続給付者	138
	1 年生以外	6		給付総額	

[注] 給付額 公立(月額)4,500円・私立(月額)6,500円。

(4) 枚方市交通災害遺児奨学金

(単位：円、人)

給付額月額	給付人員	給付総額
5,000	6	360,000

(5) 児童・生徒入学者数

① 小学校

(単位：人)

学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数
枚方	101	明倫	47	交北	65	田口山	56	山田東	28
枚方第二	92	殿山第一	50	香陽	54	西牧野	44	藤阪	61
蹉跎	49	殿山第二	75	招提	64	川越	22	平野	100
香里	107	樟葉	118	中宮	82	蹉跎東	58	長尾	39
開成	55	津田	71	小倉	48	桜丘北	39	東香里	63
五常	88	菅原	69	樟葉南	73	津田南	114	伊加賀	93
春日	70	氷室	36	磯島	63	樟葉北	46	西長尾	63
桜丘	63	山之上	101	蹉跎西	61	船橋	63	禁野	64
山田	29	牧野	96	樟葉西	64	菅原東	164	計	3,008

[注] 令和5年5月1日現在。

② 中学校

(単位：人)

学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数	学校名	入学者数
第一	168	津田	243	楠葉	164	杉	275	蹉跎	249
第二	147	枚方	184	楠葉西	127	山田	89	招提北	95
第三	202	中宮	146	東香里	198	渚西	105	長尾西	159
第四	239	招提	128	長尾	142	桜丘	148	計	3,208

[注] 令和5年5月1日現在。

(6) 小学校児童数及び学級数(学年別 令和5年5月1日現在)

(単位: クラス、人)

小 学 校	第1学年							第2学年							第3学年						
	学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数						
	支援数							支援数							支援数						
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計
枚 方	3	47	54	101	6	2	8	4	54	55	109	4	2	6	4	61	66	127	10	2	12
枚方第二	3	43	49	92	5	3	8	3	39	45	84	7	1	8	3	49	46	95	4	1	5
蹉 跎	2	24	25	49	2	1	3	2	31	38	69	4	3	7	2	33	24	57	5	-	5
香 里	4	56	51	107	3	2	5	4	66	56	122	9	2	11	4	53	60	113	6	1	7
開 成	2	27	28	55	5	3	8	3	46	33	79	8	2	10	2	34	35	69	7	5	12
五 常	3	50	38	88	5	1	6	3	38	45	83	7	1	8	3	51	44	95	6	2	8
春 日	2	27	43	70	1	-	1	3	40	41	81	5	2	7	3	39	36	75	11	3	14
桜 丘	2	28	35	63	3	2	5	3	50	42	92	4	1	5	3	40	43	83	5	6	11
山 田	1	8	21	29	1	-	1	1	15	15	30	5	2	7	2	20	20	40	4	2	6
明 倫	2	30	17	47	4	-	4	2	16	22	38	2	3	5	2	21	18	39	4	1	5
殿山第一	2	25	25	50	2	-	2	2	19	26	45	1	1	2	2	35	26	61	6	2	8
殿山第二	3	40	35	75	4	1	5	3	45	35	80	5	1	6	3	34	38	72	2	-	2
樟 葉	4	54	64	118	5	1	6	4	63	67	130	8	2	10	4	66	63	129	6	4	10
津 田	3	33	38	71	3	-	3	3	40	36	76	5	2	7	3	33	39	72	5	3	8
菅 原	2	41	28	69	6	-	6	3	45	38	83	4	1	5	3	39	37	76	5	1	6
氷 室	2	18	18	36	-	-	-	2	25	22	47	3	-	3	2	23	22	45	1	1	2
山 之 上	3	46	55	101	6	3	9	3	56	48	104	6	1	7	4	66	50	116	6	4	10
牧 野	3	48	48	96	9	-	9	3	50	50	100	7	2	9	3	48	52	100	7	2	9
交 北	2	36	29	65	5	1	6	2	31	38	69	8	3	11	2	27	35	62	5	-	5
香 陽	2	28	26	54	2	1	3	2	23	34	57	-	-	-	2	28	35	63	7	3	10
招 提	2	36	28	64	2	2	4	2	38	28	66	2	-	2	2	32	26	58	5	2	7
中 宮	3	32	50	82	4	2	6	3	36	44	80	2	1	3	3	38	35	73	7	2	9
小 倉	2	27	21	48	3	1	4	2	30	34	64	8	3	11	2	39	27	66	7	3	10
樟 葉 南	3	37	36	73	4	4	8	2	43	23	66	4	1	5	2	43	25	68	4	-	4
磯 島	2	32	31	63	5	2	7	2	27	27	54	6	5	11	2	28	27	55	3	2	5
蹉 跎 西	2	35	26	61	6	1	7	3	34	39	73	5	1	6	3	38	35	73	5	4	9
樟 葉 西	2	34	30	64	4	3	7	2	27	34	61	3	1	4	2	25	34	59	3	3	6
田 口 山	2	28	28	56	4	-	4	2	32	33	65	1	-	1	2	36	31	67	5	1	6
西 牧 野	2	18	26	44	-	1	1	2	34	22	56	5	1	6	2	18	21	39	3	-	3
川 越	1	12	10	22	2	1	3	1	11	12	23	2	2	4	1	18	11	29	6	-	6
蹉 跎 東	2	25	33	58	1	1	2	2	24	30	54	2	2	4	3	34	42	76	7	-	7
桜 丘 北	2	23	16	39	6	2	8	2	30	24	54	4	2	6	2	22	21	43	6	2	8
津 田 南	4	58	56	114	2	2	4	4	50	60	110	9	-	9	4	57	62	119	9	1	10
樟 葉 北	2	23	23	46	-	-	-	2	34	21	55	5	2	7	2	27	24	51	4	3	7
船 橋	2	32	31	63	4	-	4	3	32	42	74	4	3	7	3	43	35	78	4	2	6
菅 原 東	5	88	76	164	3	3	6	5	80	80	160	9	2	11	6	94	98	192	13	6	19
山 田 東	1	15	13	28	1	-	1	1	16	17	33	7	1	8	2	18	21	39	4	-	4
藤 阪	2	33	28	61	-	1	1	2	29	26	55	4	-	4	2	28	29	57	2	2	4
平 野	3	49	51	100	5	1	6	3	50	48	98	8	2	10	3	48	47	95	5	2	7
長 尾	2	20	19	39	-	-	-	2	28	22	50	2	-	2	2	30	25	55	3	2	5
東 香 里	2	37	26	63	3	-	3	2	19	28	47	2	2	4	2	33	23	56	3	3	6
伊 加 賀	3	45	48	93	2	2	4	3	40	38	78	4	2	6	3	40	43	83	5	-	5
西 長 尾	2	31	32	63	6	1	7	2	22	23	45	3	1	4	2	26	34	60	2	2	4
禁 野	2	25	39	64	2	1	3	3	39	34	73	10	3	13	2	38	27	65	5	1	6

(単位：クラス、人)

小 学 校	第 4 学年							第 5 学年							第 6 学年							全 学 年							
	学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数							学級数・児童数							
	支援数							支援数							支援数							支援数							
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計
枚 方	4	52	55	107	2	2	4	4	62	69	131	2	3	5	4	66	59	125	5	1	6	31	342	358	700	8	29	12	41
枚方第二	3	41	36	77	4	-	4	3	44	37	81	6	1	7	3	49	51	100	7	1	8	24	265	264	529	6	33	7	40
蹠 陀	2	37	25	62	4	-	4	2	36	36	72	5	1	6	2	30	44	74	3	1	4	17	191	192	383	5	23	6	29
香 里	4	56	55	111	7	3	10	4	77	61	138	6	1	7	3	61	58	119	3	-	3	32	369	341	710	9	34	9	43
開 成	3	46	45	91	7	1	8	2	36	43	79	5	3	8	2	40	38	78	5	2	7	22	229	222	451	8	37	16	53
五 常	2	40	30	70	3	-	3	3	50	42	92	9	2	11	3	47	34	81	3	1	4	24	276	233	509	7	33	7	40
春 日	3	41	31	72	9	2	11	3	42	45	87	5	3	8	3	50	45	95	12	5	17	26	239	241	480	9	43	15	58
桜 丘	3	49	36	85	5	1	6	3	36	51	87	3	3	6	2	39	41	80	4	3	7	23	242	248	490	7	24	16	40
山 田	1	14	12	26	4	3	7	1	12	15	27	3	3	6	1	15	21	36	4	4	8	13	84	104	188	6	21	14	35
明 倫	2	23	16	39	5	1	6	2	21	20	41	6	9	15	1	20	13	33	2	-	2	17	131	106	237	6	23	14	37
殿山第一	2	32	25	57	4	1	5	2	28	33	61	9	3	12	2	23	43	66	3	1	4	18	162	178	340	6	25	8	33
殿山第二	3	41	30	71	1	1	2	3	39	42	81	-	2	2	2	35	26	61	2	1	3	21	234	206	440	4	14	6	20
樟 葉	4	66	66	132	6	6	12	4	61	65	126	1	1	2	4	64	58	122	5	5	10	32	374	383	757	8	31	19	50
津 田	3	38	49	87	6	4	10	2	38	39	77	5	4	9	3	53	42	95	6	3	9	24	235	243	478	7	30	16	46
菅 原	3	42	33	75	4	-	4	3	48	35	83	7	2	9	3	51	42	93	7	1	8	23	266	213	479	6	33	5	38
氷 室	2	29	17	46	6	-	6	2	25	22	47	4	2	6	2	23	23	46	1	-	1	15	143	124	267	3	15	3	18
山 之 上	3	48	55	103	3	1	4	3	44	42	86	1	2	3	3	40	49	89	4	-	4	25	300	299	599	6	26	11	37
牧 野	4	50	62	112	10	7	17	3	52	53	105	5	2	7	3	58	50	108	10	2	12	28	306	315	621	9	48	15	63
交 北	2	26	35	61	7	3	10	2	38	28	66	12	3	15	3	48	41	89	11	6	17	23	206	206	412	10	48	16	64
香 陽	2	26	27	53	4	1	5	2	40	33	73	8	2	10	2	23	34	57	2	4	6	17	168	189	357	5	23	11	34
招 提	2	32	28	60	6	6	12	2	31	28	59	6	-	6	2	32	30	62	5	3	8	18	201	168	369	6	26	13	39
中 宮	3	41	40	81	7	2	9	2	45	33	78	10	2	12	3	45	41	86	7	5	12	25	237	243	480	8	37	14	51
小 倉	2	33	33	66	6	4	10	3	44	39	83	7	1	8	2	33	27	60	4	3	7	21	206	181	387	8	35	15	50
樟 葉 南	3	38	33	71	5	2	7	2	35	38	73	4	3	7	2	24	32	56	3	4	7	21	220	187	407	7	24	14	38
磯 島	2	31	31	62	4	2	6	2	39	39	78	8	2	10	2	32	33	65	1	2	3	19	189	188	377	7	27	15	42
蹠 陀 西	3	45	32	77	7	4	11	2	38	34	72	5	1	6	3	42	39	81	3	2	5	23	232	205	437	7	31	13	44
樟 葉 西	3	38	36	74	8	3	11	2	32	33	65	5	1	6	2	22	35	57	4	2	6	20	178	202	380	7	27	13	40
田 口 山	3	37	34	71	2	2	4	2	42	34	76	2	4	6	3	44	44	88	6	2	8	20	219	204	423	6	20	9	29
西 牧 野	2	30	31	61	5	6	11	2	30	12	42	4	1	5	2	35	18	53	4	1	5	17	165	130	295	5	21	10	31
川 越	1	8	10	18	5	1	6	1	12	12	24	4	2	6	1	12	14	26	1	2	3	11	73	69	142	5	20	8	28
蹠 陀 東	2	29	33	62	3	2	5	2	28	28	56	6	1	7	2	35	32	67	5	1	6	18	175	198	373	5	24	7	31
桜 丘 北	2	19	23	42	3	1	4	2	28	32	60	7	-	7	2	29	30	59	5	1	6	19	151	146	297	7	31	8	39
津 田 南	4	72	61	133	7	3	10	4	67	65	132	5	4	9	4	60	78	138	3	2	5	32	364	382	746	8	35	12	47
樟 葉 北	2	26	17	43	2	3	5	2	25	22	47	1	1	2	1	19	20	39	2	2	4	16	154	127	281	5	14	11	25
船 橋	3	44	36	80	6	4	10	3	47	51	98	-	7	7	2	40	39	79	7	1	8	23	238	234	472	7	25	17	42
菅 原 東	5	80	85	165	6	2	8	4	83	58	141	15	1	16	4	78	79	157	3	5	8	39	503	476	979	10	49	19	68
山 田 東	1	12	15	27	4	1	5	1	21	16	37	4	3	7	1	18	19	37	6	4	10	12	100	101	201	5	26	9	35
藤 阪	3	31	43	74	3	3	6	2	39	33	72	3	3	6	3	37	47	84	3	-	3	18	197	206	403	4	15	9	24
平 野	4	72	42	114	9	1	10	3	45	45	90	10	2	12	3	42	58	100	4	7	11	27	306	291	597	8	41	15	56
長 尾	2	35	18	53	6	3	9	2	31	32	63	1	1	2	2	28	26	54	2	2	4	16	172	142	314	4	14	8	22
東 香 里	2	27	18	45	6	-	6	2	24	39	63	2	6	8	2	30	19	49	5	-	5	17	170	153	323	5	21	11	32
伊 加 賀	3	38	34	72	-	-	-	2	35	39	74	-	1	1	3	62	38	100	5	-	5	21	260	240	500	4	16	5	21
西 長 尾	2	35	34	69	5	3	8	2	25	27	52	3	3	6	2	44	32	76	7	4	11	19	183	182	365	7	26	14	40
禁 野	2	32	33	65	3	4	7	2	29	35	64	6	4	10	2	33	37	70	8	2	10	22	196	205	401	9	34	15	49

〔注〕支援数のうち、児童数は内数。

〔小学校学年別合計〕

(単位：クラス、人)

	学級数・児童数				支援数			
	クラス数	男子	女子	合計	クラス数	男子	女子	合計
第1学年	105	1,504	1,504	3,008	289	146	52	198
第2学年	112	1,597	1,575	3,172		213	69	282
第3学年	115	1,653	1,592	3,245		232	86	318
第4学年	116	1,682	1,540	3,222		219	99	318
第5学年	106	1,704	1,635	3,339		220	106	326
第6学年	106	1,711	1,679	3,390		202	98	300
合 計	660	9,851	9,525	19,376		1,232	510	1,742

〔注〕支援数のうちクラス数は外数、児童数は内数。

(7) 中学校学級数及び生徒数(学年別 令和5年5月1日現在)

(単位：クラス、人)

中 学 校	第 1 学年							第 2 学年							第 3 学年							全 学 年							
	学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			学級数・生徒数				支援数			
	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計	ク ラ ス 数	男 子	女 子	合 計
第 一	5	95	73	168	8	5	13	5	85	90	175	10	4	14	6	115	106	221	13	4	17	25	295	269	564	9	31	13	44
第 二	4	77	70	147	5	1	6	4	82	81	163	6	2	8	4	65	70	135	4	2	6	15	224	221	445	3	15	5	20
第 三	5	96	106	202	11	5	16	5	116	95	211	9	3	12	5	104	95	199	4	-	4	20	316	296	612	5	24	8	32
第 四	6	117	122	239	4	5	9	7	121	127	248	5	2	7	7	137	126	263	4	2	6	25	375	375	750	5	13	9	22
津 田	6	112	131	243	5	5	10	6	129	110	239	6	2	8	6	129	108	237	6	1	7	22	370	349	719	4	17	8	25
枚 方	5	78	106	184	8	4	12	5	100	93	193	14	3	17	5	88	105	193	6	4	10	22	266	304	570	7	28	11	39
中 宮	4	72	74	146	1	4	5	4	57	72	129	5	1	6	5	80	85	165	4	-	4	16	209	231	440	3	10	5	15
招 提	4	59	69	128	10	4	14	4	69	77	146	10	6	16	3	77	41	118	12	2	14	18	205	187	392	7	32	12	44
楠 葉	5	84	80	164	4	2	6	5	92	86	178	4	1	5	5	87	79	166	4	1	5	19	263	245	508	4	12	4	16
楠葉西	4	62	65	127	4	4	8	4	64	78	142	5	3	8	3	65	54	119	4	1	5	16	191	197	388	5	13	8	21
東香里	5	103	95	198	8	7	15	6	108	114	222	7	3	10	6	104	111	215	4	3	7	23	315	320	635	6	19	13	32
長 尾	4	69	73	142	7	3	10	4	70	66	136	9	1	10	4	88	67	155	8	3	11	17	227	206	433	5	24	7	31
杉	7	139	136	275	12	4	16	7	128	136	264	7	6	13	8	142	145	287	12	7	19	29	409	417	826	7	31	17	48
山 田	3	46	43	89	11	2	13	3	65	43	108	9	4	13	3	59	46	105	6	2	8	14	170	132	302	5	26	8	34
渚 西	3	58	47	105	6	1	7	3	47	64	111	4	1	5	3	46	57	103	5	1	6	14	151	168	319	5	15	3	18
桜 丘	4	69	79	148	3	-	3	4	51	74	125	6	4	10	4	66	75	141	2	1	3	17	186	228	414	5	11	5	16
蹠 跽	6	146	103	249	7	2	9	7	130	135	265	5	3	8	8	159	140	299	6	4	10	26	435	378	813	5	18	9	27
招提北	3	42	53	95	2	1	3	3	46	38	84	2	-	2	3	57	40	97	2	-	2	11	145	131	276	2	6	1	7
長尾西	4	75	84	159	4	1	5	5	96	87	183	4	2	6	5	77	91	168	3	4	7	17	248	262	510	3	11	7	18

〔注〕支援数のうち、生徒数は内数。

〔中学校学年別合計〕

(単位：クラス、人)

	学級数・生徒数				支援数			
	クラス数	男子	女子	合計	クラス数	男子	女子	合計
第1学年	87	1,599	1,609	3,208	95	120	60	180
第2学年	91	1,656	1,666	3,322		127	51	178
第3学年	93	1,745	1,641	3,386		109	42	151
合 計	271	5,000	4,916	9,916		356	153	509

〔注〕支援数のうちクラス数は外数、生徒数は内数。

(8) 指定校変更・通学区域外就学許可件数

(単位：件)

	許可基準	許可期間	件数
1	住所移転によるもの	学年末まで（小学校5年6年、中学校2年3年は卒業まで） （枚方市内の転居に限る）	124
2	新学期当初における住所移転（前向就学）	必要とする期間	37
3	家屋の新築・増改築に伴う仮住まいからの通学	必要とする期間	4
4	学年を通じて再転校におよぶもの	必要とする期間	-
5	事情により住民票のみ異動した場合	必要とする期間	4
6	両親共働き（入院・看病）等により勤務地、 親戚からの通学	必要とする期間	16
7	病院内学級入級によるもの	必要とする期間	-
8	いじめ等によるもの	必要とする期間	1
9	不登校児または生徒の再登校に資するため のもの	必要とする期間	7
10	学校の規模と配置の適正化に伴うもの	必要とする期間	13
11	通学区域と自治会組織が異なる場合	必要とする期間	1
12	その他（教育的配慮を要するもの）	必要とする期間	13
13	学年途中における住所移転	小・中学校共3月31日まで	23

(9) 市立中学校の通学区域制度の弾力的運用

令和6年度市立中学校入学予定者における指定校変更者数

74人

(10) 国立・私立就学に伴う通学区域外就学許可件数

(単位：件)

小 学 校							中 学 校				合 計
1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	
53	1	-	-	1	-	55	324	3	5	332	387

(11) 就学猶予・免除数

就学猶予者 1人

(12) 尿検査実施状況

春季実施

(単位：人)

種 別	検査項目等	実施人数	一 次 検 査			二 次 検 査			三 次 検 査		
			蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血
小 学 校		19,211	161	21	150	24	2	52	8	1	34
中 学 校		9,486	261	24	194	46	3	27	29	2	24
合 計		28,697	422	45	344	70	5	79	37	3	58

[注]・検査結果については、複数の項目に該当する者あり。

・二次・三次検査の蛋白、潜血については、沈渣の結果である。

(13) 結核検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	問 診 調 査	二 次 検 査
小 学 校		19,224	31
中 学 校		9,916	5
合 計		29,140	36

(14) 心臓二次検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	在 籍 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	管理不要者数
小 学 校		19,376	319	119	200
中 学 校		9,916	308	121	187
合 計		29,292	627	240	387

〔注〕在籍者数は、令和5年5月1日現在。

(15) モアレットポグラフィ法での脊柱検診実施状況

(単位：人)

種 別	検査結果等	対 象 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	要精密検査数
小 学 校		3,719	3,005	69	24
中 学 校		3,477	2,660	59	41
合 計		7,196	5,665	128	65

〔注〕対象者数には小学校5年生、中学校1年生と令和4年度の経過観察者、欠席者、他市転入者を含む。

(16) 独立行政法人日本スポーツ振興センター加入者数及び補償状況

(単位：人、件、円)

種 別	補償状況等	加 入 者 数	補 償 等 の 状 況	
			件 数	金 額
小 学 校		19,271	1,259	3,315,748
中 学 校		9,843	1,410	5,148,419
合 計		29,114	2,669	8,464,167

【児童生徒課】

(1) 学校相談について

① スクールカウンセラー相談者延べ人数

(単位：人)

学期別	1 学期	2 学期	3 学期	合 計
児童・生徒	911	833	456	2,200
保 護 者	440	531	272	1,243
教 員	1,596	1,660	1,089	4,345
合 計	2,947	3,024	1,817	7,788

② 心の教室相談員相談者延べ人数

(単位：人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8・9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
人 数	907	1,457	1,675	907	2,096	1,636	1,725	1,165	1,196	1,517	1,071	15,352

③ スクールアドバイザー派遣校園数

(単位：園、校)

校 種	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校
派遣校園数	-	5	2

(2) 教育相談について

① 教育相談（子どもの笑顔を守るコール）

(a) 教育相談員数及び教育相談者延べ人数

(単位：日、人)

相談日数（開設日）	相談員数	相談者延人数
241	3	258

(b) 相談者延べ人数の内訳

(単位：人)

区 分	保護者（父母）	児童・生徒	その他（祖父母含む）	計
教育安心ホットライン	183	12	49	244
いじめ専用ホットライン	11	3	-	14
計	194	15	49	258

(c) 内容別相談延べ人数

(単位：人)

区 分	非行一般	いじめ	いじめ除く 友人関係	不登校	進路問題	親子関係	生活全般	発達関係	学校関係等	その他	計
教 育 安 心 ホットライン	-	14	4	35	3	3	5	1	73	106	244
いじめ専用 ホットライン	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14
計	-	28	4	35	3	3	5	1	73	106	258

(d) 相談対象者別・曜日別相談件数

(単位：人)

区 分	件 数	相談対象者別					曜日別				
		幼 児	小学生	中学生	高校生	その他	月	火	水	木	金
教育安心ホットライン	244	3	117	95	11	18	65	49	50	49	31
いじめ専用ホットライン	14	-	4	7	3	-	6	2	1	2	3
計	258	3	121	102	14	18	71	51	51	51	34

② 教育相談（継続的カウンセリング・教職員メンタルヘルス相談及び「ルポ」不登校専門相談）月別相談者延べ人数

(単位：人)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	96	125	179	173	111	171	147	170	182	156	142	125	1777

(3) 適応指導教室運営について

適応指導教室「ルポ」児童・生徒数

(単位：人)

学年	登 室			小中学校別 合 計		学年	訪 問			小中学校別 合 計	
	男	女	計				男	女	計		
小学 1年	3	-	3	32		小学 1年	-	-	-	-	
小学 2年	3	1	4			小学 2年	-	-	-		
小学 3年	1	4	5			小学 3年	-	-	-		
小学 4年	4	2	6			小学 4年	-	-	-		
小学 5年	5	3	8			小学 5年	-	-	-		
小学 6年	3	3	6			小学 6年	-	-	-		
中学 1年	8	7	15	56		中学 1年	1	-	1	3	
中学 2年	7	15	22			中学 2年	-	2	2		
中学 3年	7	12	19			中学 3年	-	-	-		
計	41	47	88	88		計	1	2	3	3	

【支援教育課】

(1) 支援学級の設置状況

(単位：学級数)

種別	区分	小学校	中学校	計
弱視		2	1	3
難聴		2	3	5
知的障害		115	32	147
肢体不自由		23	9	32
病弱・身体虚弱		9	4	13
自閉症・情緒障害		138	46	184
計		289	95	384

〔注〕

- ・令和5年5月1日現在。
- ・病弱・身体虚弱学級のうち院内学級は、市立ひらかた病院と星ヶ丘医療センター内に設置。
- ・通常の学級に在籍する児童・生徒を対象とした通級指導教室として、難聴通級指導教室を磯島小学校に、言語障害通級指導教室を枚方第二小学校、長尾小学校に、発達障害通級指導教室を枚方小学校、開成小学校、桜丘小学校、津田小学校、氷室小学校、小倉小学校、磯島小学校、蹠陀西小学校、樟葉西小学校、川越小学校、津田南小学校、船橋小学校、菅原東小学校、山田東小学校、平野小学校、伊加賀小学校、西長尾小学校、禁野小学校、長尾西中学校に設置。発達障害通級指導教室を全校設置、情緒障害通級指導教室を第一中学校に設置。

(2) 主催事業

(単位：人)

	令和5年度	中国語	韓国語	ベトナム語	ウズベク語	スペイン語	タガログ語	ポルトガル語	計
枚方市帰国児童等に対する教育指導員派遣事業									
教育指導員		4	1	1	1	1	1	1	10
対象小学生		6	0	2	0	1	4	0	13
対象中学生		0	1	0	2	0	0	1	4
対象児童・生徒合計		6	1	2	2	1	4	1	17

(3) 青色防犯パトロール実施状況（出動回数）

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本庁(※1)	5	7	8	9	10	7	10	9	8	6	8	7	94
教育委員会	10	8	9	11	15	9	9	7	10	8	7	11	114
環境部	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51

〔注〕・すべて再掲。

- ・(※1) 危機管理政策課・消費生活センター・子ども未来部。

【放課後子ども課】

(1) 総合型放課後事業

① 留守家庭児童会室実施状況（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

児童会	班	定員	入室児童	待機児童	児童会	班	定員	入室児童	待機児童
開成	2	131	131	2	菅原東	5	247	229	-
山田	1	50	42	-	蹉跎東	2	88	86	-
香里	4	200	170	-	磯島	2	100	79	-
明倫	2	73	69	-	氷室	1	55	54	-
津田	2	94	85	-	藤阪	2	99	79	-
牧野	3	147	141	-	平野	3	160	160	2
香陽	2	100	79	-	桜丘	3	150	120	-
小倉	2	100	99	-	殿山第一	2	100	96	-
樟葉	3	187	182	-	春日	2	104	102	-
殿山第二	2	100	93	-	西牧野	2	100	79	-
蹉跎	3	150	113	-	山田東	1	50	31	-
五常	3	150	125	-	蹉跎西	2	103	98	-
交北	2	87	75	-	長尾	2	85	66	-
菅原	3	139	106	-	川越	1	50	32	-
招提	2	98	70	-	桜丘北	1	58	57	-
枚方第二	3	148	146	-	樟葉北	2	100	96	-
田口山	2	100	75	-	船橋	2	108	106	-
中宮	2	109	103	-	東香里	2	100	68	-
枚方	3	160	154	-	伊加賀	3	150	126	-
山之上	3	138	138	2	西長尾	2	100	83	-
津田南	4	174	167	-	禁野	3	150	122	-
樟葉西	2	98	95	-	計	102	5,090	4,511	6
樟葉南	2	100	84	-					

〔注〕対象は、小学校1年生～6年生の留守家庭児童。

② オープンスクエア実施状況（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童	児童会	登録児童
開成	100	殿山第二	90	枚方	363	藤阪	68	川越	29
山田	75	蹉跎	80	山之上	151	平野	105	桜丘北	48
香里	131	五常	99	津田南	140	桜丘	86	樟葉北	112
明倫	96	交北	61	樟葉西	74	殿山第一	91	船橋	98
津田	172	菅原	88	樟葉南	91	春日	124	東香里	115
牧野	110	招提	82	菅原東	149	西牧野	136	伊加賀	117
香陽	73	枚方第二	151	蹉跎東	109	山田東	58	西長尾	49
小倉	87	田口山	82	磯島	118	蹉跎西	60	禁野	145
樟葉	272	中宮	86	氷室	48	長尾	40	計	4,659

③ 土曜日における児童健全育成事業（枚方子どもいきいき広場事業）

（単位：人）

実施日数	延参加児童数	延参加ボランティア数
12～45日の間で各校区にて設定	34,505	13,152

【教職員課】

(1) 教職員の人事

① 新任、転出入、退職、配置換等状況

(単位：人)

職 名		退 職	市教委に 移籍	転出	採 用	市教委 から移籍	転 入	再任用	配置換
小 学 校	校 長	7	-	-	6	2	-	14	-
	教 頭	-	1	2	4	3	2	-	10
	教 諭	18	4	6	37	1	12	10	133
	養 護 教 諭	2	-	1	2	-	-	1	3
	栄 養 教 諭	2	-	-	1	-	-	1	3
	事務職員（主事等）	1	-	1	2	-	-	1	9
	小 計	30	5	10	52	6	14	27	158
中 学 校	校 長	-	-	-	4	-	-	7	-
	教 頭	-	-	-	5	3	-	-	2
	教 諭	22	1	6	31	1	3	43	62
	養 護 教 諭	-	-	-	1	-	-	1	3
	栄 養 教 諭	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務職員（主事等）	-	-	-	1	-	-	6	1
	小 計	22	1	6	42	4	3	57	68
計		52	6	16	94	10	17	84	226

② 臨時的任用者雇用状況

(単位：人)

種 別	小 学 校	中 学 校	計
講 師	149	163	312
臨 時 講 師	51	27	78
産 休 臨 時 講 師	61	21	82
育 児 休 業 任 期 付 講 師	114	46	160
配偶者同行休業任期付講師	4	-	4
任期付講師・講師（市費）	59	12	71
養 護 助 教 諭	16	6	22
臨 時 養 護 助 教 諭	7	10	17
産 休 臨 時 養 護 助 教 諭	8	5	13
育 児 休 業 任 期 付 養 護 助 教 諭	10	6	16
臨 時 技 師	12	4	16
産 休 臨 時 技 師	2	-	2
臨 時 主 事	27	9	36
産 休 臨 時 主 事	1	-	1
育 児 休 業 任 期 付 主 事	3	-	3
非 常 勤 講 師	105	35	140
非 常 勤 講 師（市費）	48	47	95
計	677	391	1,068

〔注〕延べ人数。小・中学校の任期付講師・講師（市費）と非常勤講師（市費）は市費負担。

③ 教職員配置状況

(単位：人)

種 別	小 学 校	中 学 校	計
校 長・教 頭・教 諭	1,106	583	1,689
養 護 教 諭	37	19	56

種 別	小 学 校	中 学 校	計
栄 養 職 員	15	1	16
事務職員（主事等）	55	29	84
計	1,213	632	1,845

〔注〕令和5年5月1日現在（臨時的任用者を除く）。

（2）教職員検診

- ① 定期健康診断（実施日：令和5年7月21日～8月24日、12月1日）
（新規採用者採用時検診：令和6年2月5日～令和6年3月29日）

（単位：人）

種別 区分	問診・診察	身長 体重	視力 聴力	結核検査	血圧	尿検査	
				胸部X線直接撮影		蛋白・糖・潜血	（2次検査）沈渣
小学校	1,111	1,110	1,110	1,127	1,110	1,102	70
中学校	686	684	685	693	685	674	46
計	1,797	1,794	1,795	1,820	1,795	1,776	116

（単位：人）

種別 区分	腹囲	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	HbA1c	心電図検査
		血色素量・赤血球数	GOT・GPT・γ-GTP	LDL コレステロール・HDL コレステロール・トリグリセライド*			安静12誘導
小学校	815	801	808	808	808	808	814
中学校	499	489	495	495	495	495	499
計	1,314	1,290	1,303	1,303	1,303	1,303	1,313

〔注〕幼稚園教職員については、令和2年度より職員課へ事務移管。

- ② VDT 検診（実施日：令和5年11月15日、11月16日）
（単位：人）

種別 区分	小 学 校	中 学 校	計
眼科検査	36	29	65

- ③ 胃検診（対象者：40歳以上希望者 実施日：令和5年8月7日～8月17日、8月21日、8月23日）
（単位：人）

種別 区分	小 学 校	中 学 校	計
胃 検 診	13	15	28

- ④ 子宮がん検診（実施日：令和5年11月6日～令和5年12月8日）
（単位：人）

種別 区分	小 学 校	中 学 校	計
子 宮 が ん	111	57	168

- ⑤ B型肝炎血液検査（対象者：養護教諭 実施日：令和5年6月19日～令和6年3月21日）
（単位：人）

種別 区分	抗 原 抗 体 検 査	ワ ク チ ン 接 種	抗原抗体検査（再）
小 学 校	34	33	11
中 学 校	16	6	2
計	50	39	13

⑥ 乳がん検査（対象者：30歳以上希望者 実施日：令和5年10月2日～12月28日）

（単位：人）

種別 \ 区分	小学校	中学校	計
乳がん	117	48	165

⑦ C型肝炎血液検査（対象者：30歳以上希望者 実施日：令和5年7月21日～8月24日）

（単位：人）

種別 \ 区分	小学校	中学校	計
C型肝炎	28	15	43

⑧ ストレスチェック（1回目実施日：令和5年7月10日～7月23日）

（2回目実施日：令和5年11月27日～12月10日）

（単位：人）

区 分	小学校	中学校	計
対 象 者 数	1,370	756	2,126
回 答 者 数	1,314	689	2,003

【教育研修課】

（1）教職員研修講座等

（単位：回）

区 分	計
1. 基本研修	121
(1) 初任期教職員育成研修	58
(2) ミドルリーダー研修	17
(3) リーダー研修	4
(4) 管理職研修	14
(5) 職務研修	28
2. 専門研修	67
(1) 課題別研修	12
① 人権教育研修	3
② 支援教育研修	3
③ キャリア教育研修	1
④ 学校安全研修	1
⑤ 学級経営研修	3
⑥ メンタルヘルス研修	1
(2) 実技研修	4
① 水泳指導研修	1
② プログラミング研修	1
③ 探究学習研修	1
④ 伝統文化研修	1
(3) 授業力向上研修	37
① ICT活用	6
② Hirakata 授業スタンダード	2
③ 国語講座	4
④ 社会講座	4
⑤ 算数・数学講座	4
⑥ 理科・生活講座	4
⑦ 外国語活動・英語講座	4
⑧ 音楽講座	1

区 分	計
⑨ 図画工作・美術講座	1
⑩ 技術・家庭講座	1
⑪ 保健・体育講座	2
⑫ 特別の教科道徳講座	1
⑬ 総合的な学習の時間講座・生活講座	2
⑭ 特別活動講座	1
(4) 授業の達人養成講座	12
(5) 教育フォーラム（GIGA フェス）	2
(6) 先進地域・先進校視察研修	-
3. 臨時研修	1
計	189

（単位：回）

実施形態	計
集合研修	143
資料送付等	-
事前収録した動画配信による研修	4
ビデオ会議システムを使用した 双方向オンライン研修	42
計	189

【教育指導課】

（１） 令和５年度学校園活性化事業における研究テーマ

① 幼稚園

幼稚園名	研究テーマ
枚方	主体的に遊びや生活に向かう子どもをめざして
香里	主体性を育むための環境構成と教師の援助について考える ～架け橋期のカリキュラムを見据えながら～
樟葉	仲間とともに育ち合おう！ ～ 主体的・対話的に活動する姿を目指して ～
高陵	ふれあい つながりあい 育ちあい ～友だちとのかわりを深める保育環境と教師の援助のありかたを探る～
蹉跎	つながれ心 輝けさだっこ ～人との関わりを通して～
田口山	学びに向かう力を見取り、育もう ～楽しみ、試し、工夫しながら遊び込む子どもの姿を目指して～

② 小学校

小学校名	研究テーマ
枚方	学習指導要領に基づいた教科の実践研究
枚方第二	目的意識をもって、情報を読み解き、自分の考えを書くことができる子どもの育成
蹉跎	自分と向き合う子・自分を高める子・他者とつながる子 ～探究的な学びの充実を通して～
香里	～苦手意識のある子どもも「わかる・できる」を実感できる取り組み・指導の工夫～
開成	数学的な見方・考え方を育てる研究授業 ～根拠をもって伝える・つながる・深める～
五常	根拠をもって話し、質の高いきき方を通して、新たな発見ができる子どもを育てる ～言語活動を通じた授業デザインの研究～
春日	主体的、対話的で深い学びのある国語教育をめざして
桜丘	数学的活動を通して、筋道を立てて問題解決する力の育成 ～数学的な見方・考え方を働かせ、自分の考えを豊かに表現する児童を育てる～
山田	～相手意識をもって、自分の言葉で自分の思いを伝えられる子の育成～
明倫	質の高い言語活動をめざして ～カリキュラム・マネジメントを意識した授業づくり～
殿山第一	数学的な見方、考え方を深めるために考えを伝えあう
殿山第二	子どもが自ら考え、表現できる授業をめざして
樟葉	つなぐ・つなげる・つながる ～豊かな表現力の育成～
津田	もっと 学びたい ～ひとりひとりが課題に向き合い、自分や友だちの考えを通して学びを深めよう～

小学校名	研究テーマ
菅原	～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～
氷室	質の高い言語活動を通して、試行錯誤することによって自分の考えを、根拠をもって語ろうとする児童の育成を目指す。
山之上	意欲的に学び、自分の考えを持ち、表現する子どもの育成
牧野	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる
交北	深みと広がりのある表現を目指した言語活動 ～「書きたい、伝えたい」と言える児童の育成～
香陽	身に付けた資質・能力を様々な課題解決に活かす力の育成 ー自ら学びに向かい、活用する力の育成ー
招提	カリキュラムマネジメントの計画表作成（生活科・総合的な学習の時間を中心に）
中宮	すすんで学び、次につながる力の育成を目指して
小倉	ともに高め合いながら、主体的に学ぼうとする子どもを育てる ～言葉の力を踏まえた、豊かな言語活動を通して授業デザインの研究～
樟葉南	ICTを活用した対話的で深い学びを追求する
磯島	自らの考えを持ち、違いを楽しみ、探求する子どもの育成
蹠陀西	読むことを基本とする言語活動の向上
樟葉西	自分の知識や技能を使って課題に取り組み、数学的用語を使って伝える力の育成
田口山	自らの考えをもち、伝え合い高めあう児童の育成 ～互いの考えに納得し、自ら学びに向かう姿をめざして～
西牧野	やりたい！できそう！という気持ちをもって学習し、考えたことを自分の言葉で表現できる子どもの育成
川越	ICTを活用した効果的な学習活動の充実を目指して
蹠陀東	よく聴き、よく考え、主体的に取り組める子どもを育てる授業をめざして ～思考を広げたり深めたりする発問の研究～
桜丘北	自立解決へ向けて、思考し、表現する力の育成 ～各教科における ICT を効果的に活用した授業実践を通して～
津田南	基礎・基本の定着を図り、自分の考えを表現する子を目指して
樟葉北	学校生活を楽しむための特別活動 ～主体的に話し合い、合意形成を図り、実践し、次の意欲につなげる～
船橋	主体的に伝え合い、ともに学び合う子どもの育成を行う。そのために、算数科において、考え、表現する力を育てる学習指導の工夫について研究を行う。
菅原東	自ら考え、判断し、行動する主体的に学ぶ児童の育成～学ぶ側に立った授業の実践を求めて～
山田東	個別最適な学びと協働的な学びの往還 ～学級担任と支援学級担任のよりよい連携・協働を通して～
藤阪	「強い体から健やかな心へ」一体育科を通して、子どもの「たい」を大切にしたい授業づくりー
平野	伝え合う力を高めるための授業デザインを目指して
長尾	「やりたい、やってみたい」 探究課題に対して、自らよく考える子どもの育成 ～総合的な学習の時間における探究的な学びをデザインする～
東香里	「子どもが自ら課題を見つけ、論理的に探究する子どもを育む」授業研究 ～壁をこえ、未来を創る共創アクション 2023！！～
伊加賀	自ら高め合うことができる子どもの育成～自分の考えを広げて深めて生かす授業づくり～
西長尾	演劇を生かした非認知能力を育てる授業の研究
禁野	・課題解決型学習 ・個別最適な学び ・協働的な学び

③ 中学校

中学校名	研究テーマ
第一	教科横断的なカリキュラムマネジメントによる授業改善 自ら考え行動でき、他者を大切に、粘り強く学びに向かう生徒の育成を目指して
第二	「主体的・対話的で深い学びの実現～生徒が学びに向かうパフォーマンス課題」 「人権教育の推進と安全・安心な学校づくり」
第三	主体的・対話的で深いまなびの実現に向けた、個別最適な学びと共同的な学びの一体的な充実を図った授業づくり
第四	非認知能力の育成、ねばり強く取り組む力の育成（あきらめずに課題に取り組むために必要な力の研究）
津田	非認知能力～見えない学力と確かな学力～
枚方	すべての生徒が学びに参加し、夢中になる授業づくり
中宮	社会と自分を結びつけて考え、行動できる力を育成する 「学びの楽しさ、つなげ方、深め方」を生徒が学べる課題設定」
招提	生徒一人ひとりのわかる喜びを体感させるための指導方法の工夫改善 ～自尊感情を高め、積極的に取り組む姿勢を養うための取り組みの充実～
楠葉	人とつながり、自分の考えを広げ、深める生徒の育成～ESD で育成する 7 つの資質態度～
楠葉西	学校でしかできない「学ぶ喜び」をすべての生徒に ～チャレペクトに向けて、各教科の本質に迫る課題の設定～
東香里	①ねばり強さ、自尊意識と人権感覚の醸成 ②基礎学力と家庭学習習慣の定着 ③ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進

中学校名	研究テーマ
長尾	誰もがいきいきとした授業づくり 「Nagao なかまづくりスタンダードの実践」
杉	「自ら学ぶ」「対話を通して、授業をつくる」
山田	「一人も独りにしない、認め合い・学び合い・高め合う『学び』の創造」 ～「つながり合う」学び、「夢中になる」学び、「創造的な」学びを通して～
渚西	これからの時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成に向けて ・生徒指導体制 →正しい生徒理解に基づき、一人ひとりの人格を尊重し、自己実現を目指した生徒指導・支援 ・支援教育 →これまで枚方市が大切にしてきた支援教育を踏まえた、個別最適化された学びの実現
桜丘	『伝える力』『聞く力』の育成を通して、子どもの学びを深める
蹉跎	自立 ～自ら考え、ともに学び、高めあう生徒の育成～ を実現するための研究実践
招提北	「生き方を磨く、学びのコーディネート」
長尾西	主体的・対話的で深い学びの展開 ～生徒の主体性を育み、協働的な学びを深める～

(2) 副読本

(単位：アクセス)

副読本名	小学3年生対象コンテンツ	小学4年生対象コンテンツ
わたしたちのまち枚方（デジタル版）	326,582	120,851

(3) 主催事業（学校園活性化事業）

事業名	開催日	内 容	参加者数等
菊のひらかた・菊咲かそう体験	令和5年10月25日（水） ～11月13日（月）	学校園で栽培した菊を展示	菊栽培：69校園 菊花展出展：33校園
枚方市小学校合同音楽会	令和5年6月19日（月） ～6月22日（木）	枚方市内全校小学校参加の合同音楽会	3,474名
枚方市小学生スポーツCarnival	令和5年11月4日（土）	陸上教室、50m 走、100m 走、800m 走、幅跳び、走り幅跳び、走り高跳び、ジャベリックボール投げ、フラフープ等	308名
漢字をテーマに思いを伝える 作文コンクール	令和6年1月27日（土） （表彰式・発表会）	小・中学生から応募のあった作品を審査し、部門ごとに入選作品を表彰・発表	13,441点

(4) 友好交流事業

事業名	開催日	内 容
第34回上海市長寧区 児童書画	令和6年2月3日（土）～ 8日（木）	上海市長寧区より送付された作品を中央図書館で展示

【学校支援課】

(1) 要保護及び準要保護児童・生徒援助費、中学校夜間就学援助

① 就学援助の状況

(単位：人、%)

区 分	年 度	児童・生徒数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	否認定者数 (D)	申請率 (B/A)	認定率 (C/A)	否認定率 (D/A)
小学校	3	20,183	4,315	3,679	636	21.4	18.2	3.2
	4	19,786	4,037	3,420	617	20.4	17.3	3.1
	5	19,376	3,993	3,341	652	20.6	17.2	3.4
中学校	3	10,205	2,485	2,103	382	24.4	20.6	3.7
	4	10,119	2,377	1,965	412	23.5	19.4	4.1
	5	9,916	2,327	1,944	383	23.5	19.6	3.9
合 計	3	30,388	6,800	5,782	1,018	22.4	19.0	3.4
	4	29,905	6,414	5,385	1,029	21.4	18.0	3.4
	5	29,292	6,320	5,285	1,035	21.6	18.0	3.5

〔注〕児童・生徒数は、各年度5月1日現在。

② 就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	年 度	学 用 品 費 等		新入学児童・生徒		小 学 校 入 学		小学校入学準備金	
		人 員		人 員	学用品費	人 員	準 備 金	人 員	(差 額 分)
小学校	3	3,678 (-)	54,891,409 (-)	92 (-)	4,697,520 (-)	473 (-)	24,151,380 (-)	- (-)	- (-)
	4	3,420	50,643,549	97	5,243,820	442	23,894,520	380	1,140,000
	5	3,340	49,448,295	97	5,243,820	430	23,245,800	-	-
中学校	3	2,103 (1)	55,146,994 (27,310)	58 (-)	3,480,000 (-)				
	4	1,965	51,501,688	53	3,180,000				
	5	1,945	50,794,040	84	5,292,000				
合 計	3	5,781 (1)	110,038,403 (27,310)	150 (-)	8,177,520 (-)	473 (-)	24,151,380 (-)	- (-)	- (-)
	4	5,385	102,145,237	150	8,423,820	442	23,894,520	380	1,140,000
	5	5,285	100,242,335	181	10,535,820	430	23,245,800	-	-

(単位：人、円)

区 分	年 度	中 学 校 入 学		中学校入学準備金		修 学 旅 行 費		学 校 給 食 費	
		人 員	準 備 金	人 員	(差額分)	人 員		人 員	
小学校	3	664 (-)	39,840,000 (-)			705 (-)	19,660,214 (-)	3,674 (-)	151,278,000 (-)
	4	634	38,040,000			661	14,087,740	3,398	101,315,600
	5	592	37,296,000			611	17,193,982	3,340	136,298,400
中学校	3			- (-)	- (-)	665 (1)	24,713,882 (39,789)	1,049 (1)	51,633,003 (51,810)
	4			-	-	671	29,273,776	975	50,134,248
	5			555	1,665,000	665	25,113,971	951	50,585,480
合 計	3	664 (-)	39,840,000 (-)	- (-)	- (-)	1,370 (1)	44,374,096 (39,789)	4,723 (1)	202,911,003 (51,810)
	4	634	38,040,000	-	-	1,332	43,361,516	4,373	151,449,848
	5	592	37,296,000	555	1,665,000	1,276	42,307,953	4,291	186,883,880

(単位：人、円)

区 分	年 度	校 外 活 動 費		実験実習見学費		小 計	医 療 費		合 計
		人 員	(宿泊分)	人 員			人 員		
小学校	3	626 (-)	3,422,399 (-)	3,676 (-)	1,470,400 (-)	299,411,322 (-)	745 (-)	3,584,338 (-)	302,995,660 (-)
	4	552	3,194,646	3,420	1,368,000	238,927,875	478	2,409,402	241,337,277
	5	554	3,116,412	3,339	1,335,600	273,178,309	457	2,320,072	275,498,381
中学校	3	53 (-)	740,822 (-)	2,102 (1)	945,900 (450)	136,660,601 (119,359)	343 (-)	2,031,927	138,692,528 (119,359)
	4	324	3,401,442	1,965	884,250	138,375,404	237	1,139,793	139,515,197
	5	216	2,127,637	1,944	874,800	136,452,928	200	1,266,227	137,719,155
合 計	3	679 (-)	4,163,221 (-)	5,778 (1)	2,416,300 (450)	436,071,923 (119,359)	1,088 (-)	5,616,265	441,688,188 (119,359)
	4	876	6,596,088	5,385	2,252,250	377,303,279	715	3,549,195	380,852,474
	5	770	5,244,049	5,283	2,210,400	409,631,237	657	3,586,299	413,217,536

[注]・() 内は東日本大震災による被災者の支給に関する数値で内数。令和4・5年度は認定なし。

- ・小学校入学準備金(差額分)の記載があるのは、令和4年度に新入学児童生徒学用品費を増額しており、令和3年度小学校入学前時に小学校入学準備金を受給した世帯で、令和4年度小学校第1学年時に就学援助を認定された世帯は小学校入学準備金と新入学児童生徒学用品費との差額を支給したため。
- ・中学校入学準備金(差額分)の記載があるのは、令和5年度に新入学児童生徒学用品費を増額しており、令和元年度小学校第6学年時に中学校入学準備金を受給した世帯で、令和5年度中学校第1学年時に就学援助を認定された世帯は中学校入学準備金と新入学児童生徒学用品費との差額を支給したため。

③ 中学校夜間学級就学援助費目別支給状況

(単位：人、円)

年 度	学用品費等		修学旅行費		校外活動費		通学費		合 計
	人員		人員		人員		人員		
3	6	113,632	-	-	-	-	6	237,570	351,202
4	6	101,124	-	-	4	9,240	6	196,140	306,504
5	5	96,588	-	-	-	-	5	210,980	307,568

〔注〕校外活動費は宿泊を伴わないものが対象。

(2) 支援学級等就学奨励費

① 就学奨励費の状況

(単位：人、%)

区 分	年 度	児童・生徒数 (A)	申 請 者 数 (B)	認 定 者 数 (C)	不認定者 数 (D)	申 請 率 (B/A)	認 定 率 (C/A)	不認定率 (D/A)
小学校	3	1,544	1,060 (20)	1,058 (20)	2	68.7	68.5	0.1
	4	1,684	1,061 (21)	1,061 (21)	-	63.0	63.0	-
	5	1,742	1,240 (75)	1,240 (75)	-	71.2	71.2	-
中学校	3	466	346 (4)	346 (4)	-	74.2	74.2	-
	4	544	383 (3)	383 (3)	-	70.4	70.4	-
	5	509	375 (49)	375 (49)	-	73.7	73.7	-
合 計	3	2,010	1,406 (24)	1,404 (24)	2	70.0	69.9	0.1
	4	2,228	1,444 (24)	1,444 (24)	-	64.8	64.8	-
	5	2,251	1,615 (124)	1,615 (124)	-	71.7	71.7	-

〔注〕・() 内は通学費のみの申請で外数。

・認定者数には、職場実習交通費・交流及び共同学習交通費のみの認定者を含む。

② 費目別支給状況

(単位：人、円)

区 分	年 度	学用品費等		新入学児童・生徒		修学旅行費		学校給食費	
		人 員		人 員	学用品費	人 員		人 員	
小学校	3	635	4,180,538	109	2,785,495	101	1,391,754	635	13,199,300
	4	649	4,215,303	74	1,891,070	98	1,029,027	649	9,722,300
	5	784	5,113,958	104	2,657,720	112	1,568,235	784	16,134,800
中学校	3	169	2,100,024	54	1,565,460	46	847,406	85	1,895,835
	4	216	2,652,168	80	2,319,200	60	1,306,766	109	2,441,050
	5	208	2,557,192	72	2,195,280	55	1,018,570	100	2,364,355
合 計	3	804	6,280,562	163	4,350,955	147	2,239,160	720	15,095,135
	4	865	6,867,471	154	4,210,270	158	2,335,793	758	12,163,350
	5	992	7,671,150	176	4,853,000	167	2,586,805	884	18,499,155

区 分	年 度	通 学 費		校外活動費(宿泊分)		職場実習交通費		交流学習交通費		合 計
		人 員		人 員		人 員		人 員		
小学校	3	3	11,980	92	529,813			7	840	22,099,720
	4	5	18,740	107	656,438			-	-	17,532,878
	5	5	17,700	144	855,673			-	-	26,348,086
中学校	3	1	4,140	3	40,277	-	-	2	800	6,453,942
	4	1	7,820	28	288,732	1	920	-	-	9,016,656
	5	1	460	19	188,511	5	4,850	-	-	8,329,218
合 計	3	4	16,120	95	570,090	-	-	9	1,640	28,553,662
	4	6	26,560	135	945,170	1	920	-	-	26,549,534
	5	6	18,160	163	1,044,184	5	4,850	-	-	34,677,304

(3) 枚方市奨学金の支給状況

(単位：人、円)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当該年度申請者数		121	145	109
当該年度認定者数		88	78	79
内 訳 (一)	公立在学生	44	33	38
	私立在学生	44	45	41
内 訳 (二)	1 年 生	70	63	73
	1 年生以外	18	15	6
給 付 総 人 員		222	219	217
内 訳 (一)	公立在学生	111	105	100
	私立在学生	111	114	117
内 訳 (二)	新規給付者	88	78	79
	継続給付者	134	141	138
給 付 総 額		14,601,500	14,447,500	14,460,000

[注] 給付額 公立(月額)4,500円、私立(月額)6,500円。

(4) 枚方市交通災害遺児奨学金

(単位：人、円)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給 付 人 員	8	6	6
給 付 総 額	480,000	360,000	360,000

[注] 給付額(月額)5,000円。

(5) 小学校学級数及び児童数

(単位：クラス、人)

学年 年度	1 年			2 年			3 年			4 年		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
3	112	3,200		114	3,201		118	3,313		118	3,388	
		1,629	1,571		1,673	1,528		1,689	1,624		1,713	1,675
4	113	3,166		114	3,215		113	3,210		119	3,330	
		1,594	1,572		1,640	1,575		1,678	1,532		1,705	1,625
5	105	3,008		112	3,172		115	3,245		116	3,222	
		1,504	1,504		1,597	1,575		1,653	1,592		1,682	1,540

学年 年度	5 年			6 年			合 計		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
3	106	3,465		114	3,616		945 (263)	20,183	
		1,720	1,745		1,810	1,806		10,234	9,949
4	105	3,388		107	3,477		952 (281)	19,786	
		1,714	1,674		1,728	1,749		10,059	9,727
5	106	3,339		106	3,390		949 (289)	19,376	
		1,704	1,635		1,711	1,679		9,851	9,525

[注] 各年度5月1日現在、()は支援学級数で内数。

(6) 中学校学級数及び生徒数

(単位：クラス、人)

学年 年度	1 年			2 年			3 年			合 計		
	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女
3	94	3,384		93	3,393		92	3,428		368 (89)	10,205	
		1,749	1,635		1,722	1,671		1,757	1,671		5,228	4,977
4	90	3,324		94	3,384		93	3,411		374 (97)	10,119	
		1,655	1,669		1,743	1,641		1,727	1,684		5,125	4,994
5	87	3,208		91	3,322		93	3,386		366 (95)	9,916	
		1,599	1,609		1,656	1,666		1,745	1,641		5,000	4,916

[注] 各年度 5 月 1 日現在、() は支援学級数で内数。

(7) 尿検査実施状況

(単位：人)

区 分	年度	実施人数	一 次 検 査			二 次 検 査			三 次 検 査		
			蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血	蛋 白	糖	潜 血
小 学 校	3	20,069	142	10	39	14	1	14	10	1	9
	4	19,660	133	26	93	20	1	36	9	-	24
	5	19,211	161	21	150	24	2	52	8	1	34
中 学 校	3	9,899	308	12	104	56	-	20	31	1	13
	4	9,748	217	22	145	42	2	27	23	1	18
	5	9,486	261	24	194	46	3	27	29	2	24
計	3	29,968	450	22	143	70	1	34	41	2	22
	4	29,408	350	48	238	62	3	63	32	1	42
	5	28,697	422	45	344	70	5	79	37	3	58

(8) 結核検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	問 診 調 査	二 次 検 査
小 学 校	3	20,128	28
	4	19,784	39
	5	19,224	31
中 学 校	3	10,143	10
	4	10,119	28
	5	9,916	5
計	3	30,271	38
	4	29,903	67
	5	29,140	36

(9) 心臓二次検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	在 籍 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	管 理 不 要 者 数
小 学 校	3	20,183	335	117	218
	4	19,787	280	114	166
	5	19,376	319	119	200
中 学 校	3	10,205	337	179	158
	4	10,119	365	136	229
	5	9,916	308	121	187
計	3	30,388	672	296	376
	4	29,906	645	250	395
	5	29,292	627	240	387

[注] 在籍者数は各年度 5 月 1 日現在。

(10) モアレトポグラフィ法での脊柱検診実施状況

(単位：人)

区 分	年度	対 象 者 数	受 診 者 数	要 観 察 者 数	要精密検査者数
小 学 校	3	3,678	3,316	102	25
	4	3,589	3,111	43	22
	5	3,719	3,005	69	24
中 学 校	3	3,678	2,871	127	51
	4	3,638	2,808	75	38
	5	3,477	2,660	59	41
計	3	7,356	6,187	229	76
	4	7,227	5,919	118	60
	5	7,196	5,665	128	65

〔注〕対象者数には小学校5年生、中学校1年生と前年度の経過観察者、欠席者、他市転入者を含む。

学校教育部 所管施設の概要

(令和6年4月1日現在)

区 分 施 設 名	所 在 地	開 設 年 月	敷地面積 (㎡)	延 床 面 積 (㎡)	建 物 構 造
枚方市立教育文化センター	磯島北町 37-1	昭和 62 年 9 月	3,956.00	4,253.77	鉄筋コンクリート造 3 階建

施 設 名	区 分	所 在 地	開 設 年 月	延床面積 (㎡)	建 物 構 造
開 成	留守家庭児童会室	香里ヶ丘2丁目5	昭和41年 7月	235.50	鉄骨造平屋建
山 田	留守家庭児童会室	甲斐田町1-27	〃	117.02	軽量鉄骨造平屋建
香 里	留守家庭児童会室	香里ヶ丘10丁目5-2	昭和45年 4月	360.62	鉄骨造2階建
明 倫	留守家庭児童会室	中宮西之町10-6	〃	135.18	軽量鉄骨造平屋建
津 田	留守家庭児童会室	津田西町1丁目34-1	昭和46年 9月	437.95	〃
牧 野	留守家庭児童会室	上島東町4-18	〃	315.23	〃
香 陽	留守家庭児童会室	香里ヶ丘11丁目36-1	昭和47年 6月	240.00	〃
小 倉	留守家庭児童会室	小倉町29-1	〃	327.18	〃
樟 葉	留守家庭児童会室	南楠葉2丁目40-6	〃	276.90	〃
殿山第二	留守家庭児童会室	養父丘2丁目7-53	昭和49年 4月	612.32	〃
蹉 跎	留守家庭児童会室	北中振2丁目11-21	昭和49年 9月	240.00	鉄骨造平屋建
五 常	留守家庭児童会室	香里ヶ丘6丁目9	〃	122.68	軽量鉄骨造平屋建
交 北	留守家庭児童会室	交北2丁目30-5	昭和51年 1月	183.46	〃
菅 原	留守家庭児童会室	藤阪中町13-1	昭和51年 4月	184.76	〃
招 提	留守家庭児童会室	招提東町2丁目2-8	昭和52年 9月	119.83	〃
枚方第二	留守家庭児童会室	田宮本町11-1	昭和53年 7月	88.89	鉄筋コンクリート造
田口山	留守家庭児童会室	田口山3丁目10-1	〃	253.11	軽量鉄骨造平屋建
中 宮	留守家庭児童会室	中宮山戸町22-3	〃	161.52	〃
枚 方	留守家庭児童会室	枚方上之町9-21	昭和54年 5月	279.29	〃
山之上	留守家庭児童会室	山之上1丁目32-1	〃	174.51	〃
津田南	留守家庭児童会室	津田西町3丁目10-1	〃	419.94	鉄骨造2階建
樟葉西	留守家庭児童会室	楠葉並木1丁目11-1	昭和55年 4月	182.37	軽量鉄骨造平屋建
樟葉南	留守家庭児童会室	楠葉美咲1丁目25-1	〃	135.45	〃
菅原東	留守家庭児童会室	藤阪東町3丁目10-1	昭和55年 4月	317.51	軽量鉄骨造、 重量鉄骨造平屋建

施設名		所 在 地	開 設 年 月	延床面積 (㎡)	建 物 構 造
蹉跎東	留守家庭児童会室	翠香園町30-1	昭和56年 4月	193.29	〃
磯 島	留守家庭児童会室	磯島北町3-1	〃	364.69	鉄骨造平屋建
氷 室	留守家庭児童会室	尊延寺3丁目1-38	〃	143.32	軽量鉄骨造平屋建
藤 阪	留守家庭児童会室	藤阪南町1丁目40-1	昭和56年 6月	121.27	〃
平 野	留守家庭児童会室	招提中町1丁目53-1	〃	139.67	〃
桜 丘	留守家庭児童会室	村野本町30-1	昭和57年 4月	430.64	鉄骨造平屋建
殿山第一	留守家庭児童会室	上野1丁目6-5	〃	330.52	〃
春 日	留守家庭児童会室	高田2丁目15-10	〃	205.81	軽量鉄骨造平屋建
西牧野	留守家庭児童会室	西牧野2丁目1-1	〃	104.95	〃
山田東	留守家庭児童会室	田口3丁目16-1	〃	185.25	〃
蹉跎西	留守家庭児童会室	出口6丁目20-1	〃	208.46	〃
長 尾	留守家庭児童会室	長尾北町3丁目3-2	〃	144.26	〃
川 越	留守家庭児童会室	釈尊寺町30-1	昭和58年 4月	168.39	〃
桜丘北	留守家庭児童会室	星丘4丁目31-1	〃	280.07	〃
樟葉北	留守家庭児童会室	楠葉野田3丁目13-1	〃	109.89	〃
船 橋	留守家庭児童会室	東山1丁目68	〃	240.00	〃
東香里	留守家庭児童会室	東香里南町44-1	〃	89.30	〃
伊加賀	留守家庭児童会室	伊加賀西町53-1	〃	260.13	〃
西長尾	留守家庭児童会室	長尾西町2丁目45-1	昭和59年 7月	159.58	〃
禁 野	留守家庭児童会室	中宮北町4-1	令和 4年 4月	122.67	〃